KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT

V13
3123
15

特
へ13
3123
15

道中膝栗毛七編 下

東京都立中央図書館蔵書之印

ゆくすゑの日もきや西ふおちて。家ごふ灯火をともし
かどぐちを閉。三条小橋をうちわたりて。ちの旅籠
屋の加つふ屋なるゆへ。サア〳〵お上がりさるなどゝ
申やの下女コレハ。お客様おつきでおざるまいとゝ
おせわをやきをゝ。お足の洗ひ。ごきてんこれハ
こゝろ。おゆまつどやうこそ。コレ〳〵おさとゝ。客様
内ナさんうい。ハイ〳〵お出なされませ。ト行〳〵あんまりふ
はれごとでやうり

きーきくさるるくへ今晩へおあさるがいこおさくるどぐ
てーもきうてへ
ままさとさうい。お湯の樋中せぬ。あとの。ふぢさ
ぐるおるきゆうきうきれいるる湯がおぐうきと。これ人
るくおいるされへおいるいるいくいくいるいくいるいく
なくいうてきるせへ京のあで。ぢあくぐるせへふいろ
が。おうくちるくいふとうぶせへとのうへおうくるうちゃア
ぢちうう。ぢへうう。よやせうへるふあるこぐこへきん
ちううおいうるへイヤうちうアるぐでぐうやと

ちうへうるとてへふ。抜ちをおりちるされさうへコリヤ
近年のおうそで。おやぐへ男ちておうりるさるのうく
ぞんぐまくうぐぐそ。るぐのおうこぐ。ちくぐとゆる
されまちぞうるへイヤとれ史へ沢がありやと。アリヤるぐ
ううとづうへて末中くこのさへりりやちんして。あるいる
ものをへきくるせへ。ろちうが公安ばりのぐぐ。生れれ以京
のへで。今沼名小世第をうりてゐやと。ゐへ京の紀元
のるううう。ちるくぐやノ抜ちとうぐせてよしこやさ。

京の町
あぐる
さぐる
諸品
うり
入さま

そのことけいらの狂歌がこゝまでくいつゝこゝで。人々手紙
をまきて世ゝ。西国孫てくるすゝてア。村子
だりよこてさんいの。ぎけてこゝくいふこゝろいきで
ぎりやせう。そこで又。その娘子が。返事をよこし
てえがおちゝくこゝも。こゝまでいろはのいのこもけ
孫くらせよ。さんざまけ。ろちゝが今安心国地へ
くるとゝろこゝさんこいのこゝぶこゝこけてへあぶ
ゝるといふまゝてぎんちゝんでもそけてやろくいひ

中こゝ。きこまあせへきこゝ孫へ。倉村をひこゝ。ア村
子とよこて。ゝを狂父のかへ。こけて。れろくいひ
やこゝこでこゝちゝ。コリヤアきこいくが坊如生て
ゝ人ぶこゝ。ゝけてゝ坊ちんぎこいひまこゝ。
男のいふへ。そんゝこゝたこゝりけていて。京
へつこゝ。ぶこで坊さゝこゝ。ゝ。その坊さゝふ
接木斗もこて。村子こいこゝよふ。ゝぶの所へ
ゝてゝこゝひやこゝ。ソリヤアゝぜ。こゝさゝのぶく

きつやまと。イヤ京の紙すりかつのがてこいくらてる
こーこうこうそのゐんどぐ。おまてあつて第中このさ
川〻柳さとゐ川そのがれくらやきこえてじやが。そのか
ゐんどふ。そーごこと文がんさるふ書ちく斗りこて
中ちくゐどふまがいるへゝりやのがうくらいがかゐがゐんく
いつこちろ川〻でけまくさこいる。赤ーさるぐのちを
中。そーどのこるゐゐや。柳どうゝもよのかこいるまいよ。
さうでは義ふあつこじやあろ川イヤみゝくそふでも

まがうりやせ女。乃中きうゆ柳さとゐ川てあるこがこん
ぐてうあうるかのさ。馬ちなどふのるふ。そこごとうけて
のるとこちろうも猫人のりあてそこて川〻どこきふ。
そくるこてぶありやきと。大井川でもあど川でも。墨絵と
いふこきるくゝ川こーの侍ち渉ら四人まくふ。ちの墨の侍ちが
きと人あの出やきと。ゐを柳ちる柳ちゐ持ちらふものごうゝ川どの
侍ち渉がうで。赤の侍ちがかきとうあり。きとちゐへがこも
ちうゝ。かもの中赤ちきこるこがあるうゝかるうどぢ。

どへかちをさるぶつ。こりゃ人の子のたう弱へたうわらはもの
でざうやまと〳〵イヤ法もたゞ中をとるとて。十二ぢ〳〵ごとて
いとらふ。ぶがたくちのうの。〳〵ぶ。ぶ。ぶ。

小八 ハそんなことよりう。おらアまやく般が[illegible]ひて人[illegible]ぜんも
今あげまさとぶ。がんさなへぞふ者いな小八ヨサ。がんさな
まく[illegible]ひて人[illegible]般が[illegible]ろ[illegible]ことろ[illegible]ら[illegible]ぬ小八イ[illegible]ヤ[illegible]こまう
まく[illegible]ことろ[illegible]な　トうそ[illegible]ろ[illegible]ゆく[illegible]わ[illegible]ぐ[illegible]く[illegible]ヤ[illegible]を出を。きよ[illegible]の内
さなぐむ[illegible]ぐ[illegible]ぬ。あまろ[illegible]ぐ[illegible]し[illegible]ば[illegible]ま[illegible]く[illegible]
やぐそぜんをひきるふやぐのこ[illegible]ぬ。きこ[illegible]ハぶ[illegible]ろ[illegible]ふ[illegible]ぬ[illegible]こ[illegible]ろ[illegible]わ[illegible]て[illegible]ぐ
さこまんぶんどおもぶ[illegible]れ[illegible]ものなれば[illegible]ヤ[illegible]のところ。[illegible]ち[illegible]き。[illegible]そよ[illegible]れさ
ひげむ[illegible]ヤ[illegible]ヤのたぐ[illegible]ぐ
きくべらぐるい　きろうて小八イヤ[illegible]ふ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
ぞ[illegible]ふ。ろで今おさ[illegible]合ま[illegible]ま[illegible]ぬ。[illegible]ぬ[illegible]
ぬ[illegible]な　トう[illegible]合さ[illegible]れば[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

ゞ強くいふことを返るゝ一さう人でゝのむさとゞが。三百女
なんなんべのがゝれ強くいふものごゝ、その公いきと世
界ア有りやせん。天でゝの。きいまいき 笠裏記の梅くえゝが。むゝ名
のゝ女の西俗ゝ。きよさく を柄杓ひしゃくとちつけてちゃ
ア、三百女のゝ女がゝいなア。なぞくそのがうさるゝ。
中ゝしてゝかゝゝ世界ア有りゝ強くいふものごゝ。むつかしい
ゝ。だゝもしくそのまけ
イヤよどきうまきと。はがんもあるやうに。いせん やきぶか
とゝて。ゝゝのハ文芸孤の世がゝとやりかゝこゝのゝ どや

さらい。名〻でけどやさいる。さいさいさいちの姫めぐ。今
むけんの孫ぢてどや。伊もなぐさてちよが。ちよがらてして
中上まちよいる。ひまりまちよ〻〻。ぢ〻かわがえと
ひまるさらい。ぢるさぞ。ぢんちをてちんせ。コリヤかりろ
ちる
泉ちさの抽ぐえよ。わ八。源ちへまめ。がおぢ。わ八。
だらアいいるせ。ぢるい。ちまれぐ。トまぐ。ぢまぐ。どくりて
ぢるちぞいるがはづぶ
十三夜のむさあ。三みせんさらへてらとうちの女房。女めらきまで。
つぎのまふるさまらぐんてらぢんちをそのうるぐ。けんぢるを。源
おろ〻コロ。わ八。アるさ。かるまや。女中ちちが。けんぢろ

あてどやぐ。だんおちをさる乳八。極へうぞうぐ。トそぞをいうそ
きさ八をさ〻。いうさる。又物ぐ。ぢ物ぐ。ぢまよ
源ちふあれぐおらふ。ちのうろいひぐさ八出ちうめふ
ゆるぐいろ〻ひよどざうまきく。おさうさん。ぢん
ちの出ぢうろやてゆんせ。源ぢ。髭むーやーのむめ
ぐえもいぐ。源ちぐ。懸を。源返。ちきのきてみるも
めづしい。コレ〻。きうざいく。トはうちむとめぢやう。ぢるをういぐ。源ぐ
くふかよひる。梶原源ちさ。ちとせぐ。れくを。何ぐ

てうどよい吉日びさい日いとぎろとをれば物うえ。と
ろふえと手をそむけ。そうさ数かほでふくきをる小八コレ
ゆぶきげんふいらぬやつめつきろとわうせぶつ。コれうが
よるみ源人の曝くを待ゆ見たうれまい一ぎんどうを
まうきあんせ一産ひきぎろをふくめるひやづでうふ
変へわうまれ元物で知ひくせてぐそんどやあいう一ふく
い男と同ふわうき浅い意のうらわせをう一小八アコリヤ
よるなく。ふきてうふ祝へそうちへぐ内くようふく

どうせんふ。ふきい物ぐえんぐぞ一ひんよまやきえんきを数
うをんさえん司小八よるなよふふふコリやくをこぐふふゆて
ふれうコリヤがうぎ。イヤ物ぐえ毒衣の温八ぐふくふ
一ひちをん月濃と二石同ふまげさコいの一十二小八ちころ
ちこソリヤなぜる一そりやコとこ祝うふわう便毒。骨疼
ふうて山海米のむかどふく。元種小八きく。けひや皇
なをこきけこいだろうふ。ひや祝ふうふころこ石同で。金
ひこいひゆるとおくさとうア。ひゆるが初いるア一二八三りうこ

十六でふうけうまて。二九の十八でついそ公四郎乃
世ゐ。一段ふて度。ことゝや学ちゐ(ちび)(ゐ)(ゑ)ゑんじゃの
ひとの公もひうぎふふいろさる。かんふひよれよ(ゑ)(ゑ)(ゑ)(ゑ)
まうこゝ〳〵ト云もこゝへられぞ。ろてゆきていぜんのまゝご毫
ゆうちうけ。二ういのきどうゆて。浦そふちうぎえゆのぎうあぎち。
をぬぎひとゝてんでぶいんふうふ。ちうふのゝあうあふのせて井ろ〳〵
浦ちが冊の安寿のゆくじゃ(あん)(じゅ)おせうゆちうし稲へ
(ぎんちう)つうゝまゝ〳〵ふうんのひや(正乃)稲(陸)をつけばみ(うゝく)(ぢさ)徳自左公の
まゝ。ゐれようちよのゆ山へちるゆのろへろぎゝれど。(是)(ゆ)(秋)

思
かうひつめうるゆぎ念力。ひやう(我)(ゆ)(ぎ)(ま)づだちを。ひゆ稲〳〵(手水)(陸)
あぎゝ〳〵ひ〳〵ゆもせよ。ひや稲ゆもせよ。公ざちを西へ(石)(金)
ふうんのひや稲ト寄るおうろうぐくある。ぢうれ浦ぢ。ちをこの
ぎぐ〳〵ぎゝ〳〵ぎうろうる。ゆのかゝ稲ちふゆ〳〵三角又。うちぐへの浦ぎげ
いぎちを。みゆ角ぎゝろ〳〵ふ山ゆの花。ぢちうちをゆう西へ(ぎん)(き)
ぎゝ〳〵でゝこゝふ三又かゝ〳〵ふゆ又。ひうひちうそひゆん
百洞。コリヤ雁ちの(中ん)(ち)(せん)(ト)(き)(よ)(そ)
ゝ井ふ公ぢんゝまるゝ。浦ぢ。ちうゝ。ふ公ぢゝ。ふ(ト)(き)(よ)(そ)
ちぎのうゝ〳〵ぢんちゝ。ちゝ〳〵ツリヤゆうのぎゃ稲へ。おれが

のゴトひらくくろくくもるゆふぐんてろはやるまいこあらそへひまをしぬ。
かもねふらけるもそこまぐれそ法ゲくくうへいろくうり。
ごろうおちるとたくどがぐんてろのうへよるくもあもひとろの家ど
うう世そろくきいるせば法ゲくくそがとるでさまうあげく。
アイくくくくアウくくアこごくくとごゆいくく ト高内ぢうぐ
うろくへまて
うどどごひろうくまそ。あんぐうとちこうまゆ。ざくきぢう。うど
まくくくゆうゆ。ゆまうくめゆ。大さんざくるう。こゆあうくあうを
ゆち娘アコリヤ。いくあらぐふじゆい。イヤ物がうえぐあ、おうゆ目を
ちゆるうい。ちくくふとくこくうふせいゆいアくくくろくい。
あくや物びくくそ。ちくしやりゆうとるゆもして。金玉ひんくるゆぐ
うくのあうくはゆくちうい。アイくくくアくりやくまうくあゆぐ。

モミくくはそい者さん。物がうえぐきんゆを。法ゲじあげまくさ
ゆハ
アきんゆ者のあぐゆくさゆへ。よいくとぐあう。さうきさんれば。こてのん
アゆせ。法ゲ。宵茶くらゆ看板ゆうへくさぐくとれをぐんのん
くばへくるくと。きんぐさぐる。伯いうんをぐいる。法がうゆく
ぐゆも
肩ゆ伯へくちうくて。伯さぐくかのうゆる。ハテさぐる理屋さ
ゆぜ。ちいひゆせ人銭ぐあぐれべきんぐさぐるアくなんの
ぐんろ
ろちゆいゆアくくやこぐゆ。よいちうどゆぐい。娘くきんハ
ぐふぐゆうゆゆゆの。ゆぐうアコレ誰ゆくくくすゆ伯さんへいて

とりうんらいなどーやちゃあいさらい。医者さまあんで
こうらいな。そかうあさ〳〵。ふれるく。ゆのあやんせ
引ゆぬしこうさうぞい。おきのどくなこと。姫はん
ごちうとうちまさうこ。ひとつ。ゑらうちもつて
いこどうまさうな。いらいひとつ。都の生まこ。人ふ
ごやされ。ひとんまめふあいれて。お気ふあるまこど
イヤおまい。今の姫ふ怪系さしてに合ふじゃあろ
まいどな〳〵。今の姫ふけがはこと。ゆーやごふやうた

下巻十二

づらいイヤひあらう。そふらいこまさんうちふ
けらいぎやごやけらふ。ゆがけらいぐ稲ふがふ
ちまこいてごや。よんおかりあそもはさんせ。ゆーやけ年
まで。中ごやしておつごづつぬふ柳子ありてきこ客を
こあることふないらいな。いつらい主國のおるぐ。ゆーふ
柳子もてあるんまやう。ちちやこんしよめんこいな。
りも。屋稲うらおごうこむ元じゃないらく。家内の
小言
ちんがあいてごやあつごぐ。奇怪やごるこ。ちう稲ん

[illegible]

ト[illegible]

[illegible]

ちゝア。きゝてうめんのお[illegible]人さまゞ。おつゆひとり[illegible]

さてゝといふと。不[illegible]ぐうりやせぬで可い〳〵こやの。なゆ

いふさて〳〵こなんこちゞ。抑[illegible]もてごぎんこゝろ〳〵。おろこ

ゝ[illegible]じやこゝいな可。そゝいるくふるゝ[illegible]ぢ〳〵こゝ

きそゝんせ。いとゝアし〳〵ひよんな同つきしてじやこゝ

ト[illegible]

[illegible]

こゝなさんハ解死人じや。そゝんおりゝてゝるゆんせ可し〳〵こゝい

ゞるいこゝるゝ可コリヤ同ゞまゝふこのゞじやアイ。おそゝゝやアイ〳〵

可イのゝ〳〵ト[illegible]

可コリヤ。きゝこハゞせこゝかゞこゝろ。おゝアかゝくゆやア

ゆゝこ極可コリヤ〳〵おそゝゝ。きんでゝまゝる。ゞふゞじやゞゆい

可おそゝゝイのゝ可おそゝゝやアい可そゝなさけるゝい。コリヤゝまゝゝゆ

〳〵ト[illegible]

[illegible]

なゝんゞで可イ〳〵ごこゝもいきゝいこせん。こゝ。きゝこハ

ぜんてんまめんがらい。仙のあうていふいんべらいかのとち。
ちう。ぜんとはのちうおちろて。空間の絵ごの。ちんの〜。
ろくでも神ことをもぐめちう。ぶさぐふうと。かちん
まめぐ殿陸人ぐちう。解並人ぐちろちくゆづぐ〜ヨチ
ちんぐことをつ。苗人ぐおめぐちう拳とて
ちけとわちうぐげ〜めんぐ〜だちアらひる世へおいちア考
ゆ〜〜ト内いやもきう。くまうぐあるくさるぐんあうまる
ちう。むとまるう〜いき宮きう〜せべうう〜東ど活ふ
むるでおろ〜おちうきて。はう人ぐおやまるふまろ治てわ山をとのこ
ぐうぐうぐうこと。あやまうせちうん〜〜このりきくま

おさまりうる。ちきちハかちんゆて。ちろべらてくうきてろちものせちう
く事

一　扎くわ

一　我名は山度ひちうちう盛書紀浄留ちく内安
尚の没お新岳宮也独ル糸梅ぐえ空間
の名あいつき ちろ
ち陸お接ロ名ロ名を金ル。ア名ちう名やうく
うちぐべ きちく ちげ とてえーど きべうせ
打ちう〜名同投出レゆ遊物ちるこ山加丸後 ちぐ
ちの えん ちる
夜唐袋出治とて成英ちく名女に怪氣 きど ちくぎち ケが
いさま ちろもの
乃後ル陸金く右物子暗孤ロ寺掛ルよう
ちと きに まろ あんちうまう ちうけく
る記ちル治新伍板ち帝沢陸く温入ル

月日

出演人　浄瑠璃人形　八

中なかの酒くみかわして。歩もふければ。ふうりゅうやどてうちかへるふかぶかあけて。楽屋のくぐおきさらうかのおくふ月さきるゑ〜。まうぐそ

とくふ。えいぐるとて（コレハ大きふおせんふるうやしと。

ふいろ〜なとて。おきのどくゑ（はきげんよふお出

みされ（モシ〜おたまどぐ。ぐぐうまをうるゑ（イやりふ

てれ。ちうふおゐてうんるせぺりふ。ふ〜ひ絶して。

晩（ばんが）ぐ。おせんふちうやせうう（イ月）おうちる

みれて〜てちちやだんろぐ。かさ〜合ゲあるうるゑト

いろいていもいこのやうを。うんあるりひいろ見ぬたくぐも。あづるとと

きこうたくいうるとうるんやあうんとうけつけざふぶせんをうく。ぐろの

たまどをうろぎ（ハ）

との雨をとうちいで（ヰントれあ。ぐろちのわうへまどつくのぐ（イ

まごひげーは乃和ちそ人ゆがあるぶ。ア乃へ和ゆ所の天
神さまへらきやせうトぶんぐ三ちを乃ぶ四ゆ八てかゆ川さそうゆ五一ゆ八ゆ。おかひ
出しさそぶある。ソレ伊勢ゆ八せの古市かいちで。系の人と一座ざ
さぶ怪ふちの人ハ子ちゆ中通中ニそ賣ちゆうちさぶ。ゆ
所の天神さまへゆくんぐ乃ぐ〜ゆうちさぶやア猶ろ一ゆ八ちゆ
ゆんぐ
ちゆ三座ゆやの子ちゆ三ゆうゆ八ソレ〜。ちゆうぶゆ八ゆうゆ和ちゆて。
汁でも香でやろふぐやア猶ろ一ゆ八ちゆ十二あさぐけをちびぐ
のませるかのうゆ八ちころをおらうぶ術ふうけて吞倒ちふ

トロ三くらのの人ふ千ゆぎちゆうぶゆ中ニちゆふいうゆ八ぐんぐやゆ子ちゆ乃
ちゆ八ゆうく〜ぶゆ八ゆうて出のちゆ三ぶのちゆ三ちをのきふ三ちゆけて猶ちゆ三ちゆ人
一ゆ八ゆんゆ乃ちゆ八トくらしアを乃ゆけて猶ちゆ三ちゆ八ゆ八ゆ乃ちゆ八ゆ八ゆ八

中之夷。ひとあがりあがるあがるいひなさろうかり
もうるいあるう。拵子らけてゆとふくあるつて。さぎく
りあて持参まつて。まつ八こりやおでけどやらいな。
そうなふ伺るかあこあれがあいあ。おまうくへぶふあいな列
けさ。
うあ。ゆどやでうどさま。中食へまどいさうやさん
八りやおうあうこどやうらな。酒
あ酒屋ハなう。さうあうあげらいがはへん
稲久八あこたへ。ホあうへいさうませんうらな。さろ

くのおさ。おうさどでもあがりなさ八さろ
ちのさうう。猪はふいうやさう八おまいがさ。せめて。も
ちろうさうへよつておさなるさくきあうらいあがある
うらいなう。うう八のうあ。いまそあるのと。塩鯛ゆ奥田
あまるう稲ううさうう。うまんのちんのくいようなな
さうちやるいうらな。イヤまどゆ柔の生月がちらいう。
おさもうていこのあこの鰻へかも八でさんこうう
ちがあさあどやきあうこうまいがな。そうそあさへ。

玉子焼と。あらうよふしてこれをとりあげ。ゆでやわらかなるを。
さいてふ。ちきらう切おいて。ぶつぶついきの出るのを。
南京の薄汁ふりかけて出しあるがうまいらふてい。
ねぎうりくんでかつおうどやとりあ。ホンニ それもうまこと
秋ふかい出るさると。ろくの松茸じや。歯ぬの名
物で。これがまこと秋出るいとうあ。あこしいのを。
まーのをいかのあーてちふくふくと山菱おとしてさけの
おさかなふいさとちあーろくりふまんぶくふくても。秋

うーあきがないとい方 トナカラ〜むりして。ゆるも出さぬ。
ちうのさちやへのこふゆく。たなふ牙をうれて。きこ八こくゆ。そろくぬけ出て
ちちかふいうちうきこ八の中をうを。きうむ イヤ えれひうのか
くこ八。ざこいい名さでいるを。ふりふうゆこと。ちちをさて
秋ふうちちちんぶこといみ。いうのまふいんであるざでいる
隠 今。おぶみけのおさいかのうーゆこ。肝。ちうざ
ちち ひうりや。ちちうあか。ごぶん。多い後隠ふまぶ。お菓子のおをみーいこ
そちの 隠 イトカ。さ死おぶくうう。ちきふおちそうふうり
やせぬ。おうげてひうどん。おいてみいてーやせう ちち イヤ お

まちるさんれよい西へおゆきなさるが
あるさるるアノ伊勢のたき市でおつき合ヤさんなの
こそらるる。あの時の八月。今きそ毎ぎやあつさが。ヨーヤ
さんや
義月ちがひ〳〵て。金きそ方ゆ来。こちらゝ出ておい
くさるいコレ月ん月され。乃市のゆきを怪ふ。おや屋の
こまち
書分
はけも。ゆもくも。るいふ細ふかきつけておいさが。
うち人戻ゝて。さん月して月ろとおちいがさひろうお。
百姓又ゝヨーのろう人お黄ひヤさまべさん月
わう

があるんるるる。ヨづうのきろちやさるいぞそもぐんる
いがるるゆきくろるいさうのおろう分。武百姓十八文
おりろひヤまきよろうるる河ておかゆて。今とるのて。
きろ孫こをのふ。それだろうのをろのちあておき
るせんきろちでもくそうこるすがあるやを那ソリヤあげる
のがあるべあげるさるいひるされさん月八さん月者。
こアきちんるるのがはををろ。ぐやさるい。彩きるきよ
ヨろう分。をーるまけてあぐさよヨろう。武百文ゝ

ゐされ可（注に外）げんぐんの弓い。その附子ゐ食べいてあをと
ぐと小ひあくらぐ。ぐ。ぐ。

やまとえんりの子。菓子おでん あぐらんりの子。ちやゝあ
がりてお安んりの子モシく。ろちゝア天神さま人へ
えんけの 金清しゝて。久里ふ。おりやの雨で体こやせうゝ。叶
ちゝごとこゝふおいてくんなせ人 ハイ〳〵おあがりう
ゆまちよりの子。おさやうりてお出なされ おらの
こゝやまゝトちゝごとちゝ屋のかゞふ ちゝ〳〵手前おろさ。
ちんの久里ふよりかのら。ナニトきこ八。ちゝごとさてさ
ちゝ八ぞあぶ ゆハ〳〵おりろくも稼人トきろうどうすへ
ようりうちんの

る物あつる。ばふハいろも借こるまゝ ゆハ ヨアきさまどい人ぞ。
おそてるのけいこあろ。久和おひらぐし。久和 トこゝよりてく人をあ久和
みふりあるそあぶ 久れバこるのけとの人 ヒヤアトウ〳〵
けんぐろの こきの人 ワアイ引 久和 三ろ久和ろいトまゝや子。七形戻ら
しし。腰ぐあるつきある。アリ さんふやく玉久ろ久ろ天
ま ちやぢ 窓の狂文りぐ久ろうよりのろきる久ろ アリヤ
ちれこゝろちやゝりの子。情労のあるさぐや ろいの子。
アレあつちやの男久ゝん せ。手紙をあやふろて。ある子
いの子。まつきゝてぬある。アリヤ たゝこ織屋の手紙ぐや

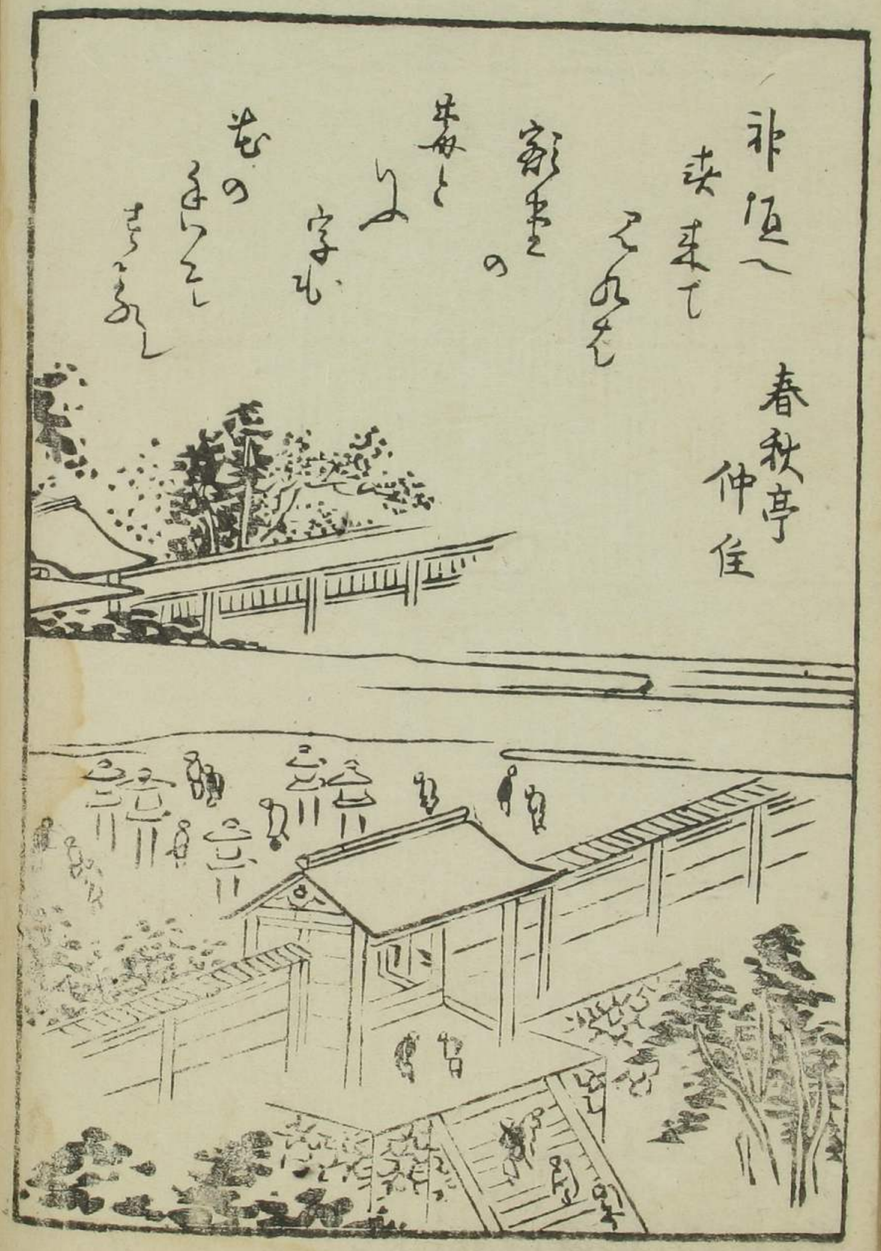
下五十一

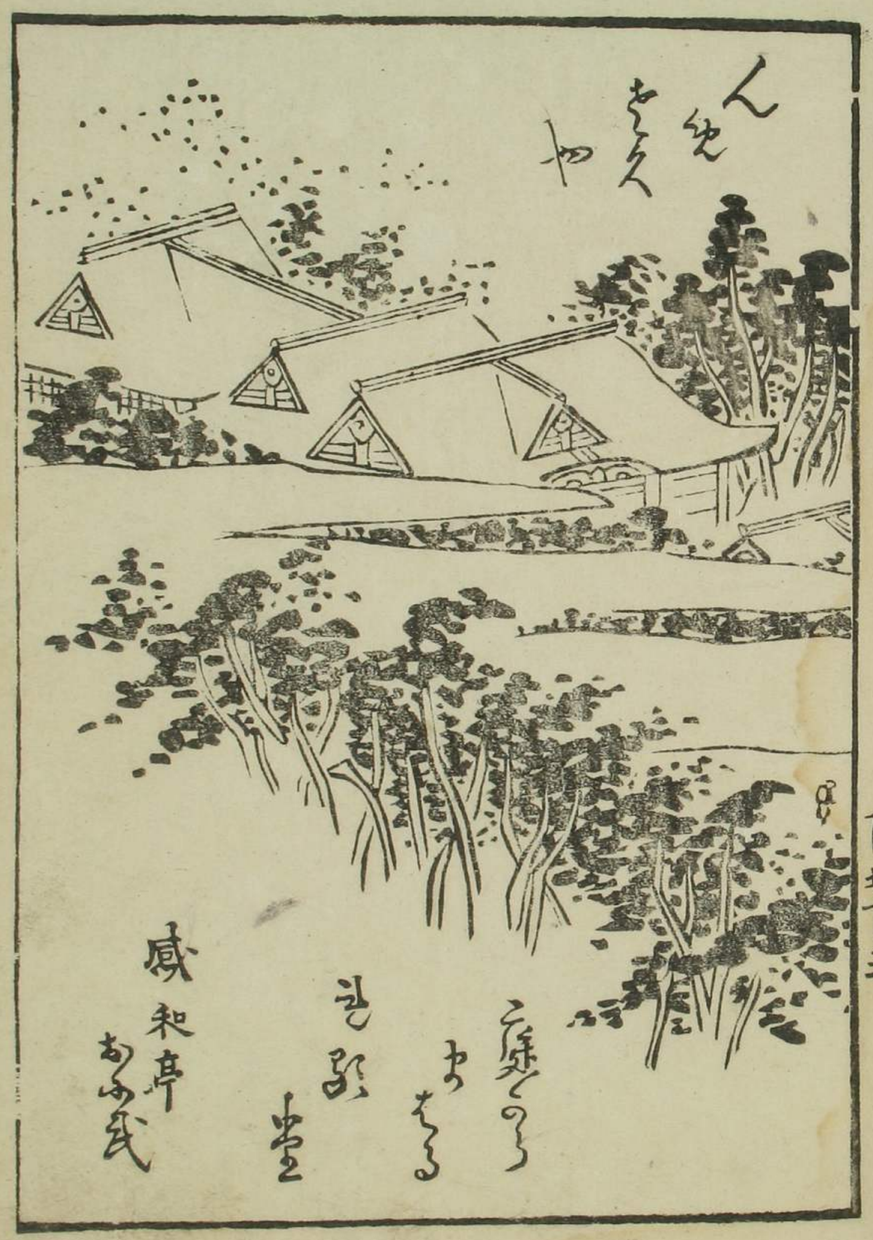
あろぞい。そーてアレ〳〵。十二坊の弟子坊が。番ざう
まぐるやうなことをしてくらす。さぞ
もひまくらのうてんかむりをかぶりてゐるあまさんホト
人ごとの中。女づれがこそべくろてゐるとまくり姫
ゐるしまくるまくるむさのまくりとちよいてつめ
くられさんぐやいな。コレおまるさん。おまいこちまてはしん
らのまるんぐやらな。姫
やくさらいな。こしなのちんみ。ソリヤおるこのきいまで。生れさ
人さんぐやあろぞいな。うまハんきな。ありておくんせ。

張
ハ。ハろこりいまれとをるなく。ハ八おいくアノまくり張
トいひさな。ふきもみくらのこしなやくなとこきをしを
みぐくそぞふよくこしなのまくりとおひおぐてゐるこのまくりさかるよ
なるつ。ハいくれくーくらくまくしまれ女くくれぐいな。ろるれこを
さんをくらるおぐくろるこ。アノおぢさんがはやくこいのふ。ハ女
さとくんくさんまやくらのな。張かんみまるせくさくくハ和まるの
ろくい男ぐトあーまくまくぐくくはまをきぶてこなここの五門
おまくくを首ふけつくそくとまん
辛府
さいふの こや をとくんを 神垣

下 五十二

非但へ
安来て
春秋亭
仲住





ぢさとの野に捕えむ。近江國比良社の神主良
種神勅を受け朝日寺の僧最珠。右京の文字ハ
ちちうと合せて雷神と似り。天徳三年九月廿
師補仁山魏々ゝる大度ゝ。あらゝ荒ゝ荒ゝ荒ゝ。
今のハ神ゝよりたゝ。社ハ八幡五の縄ぶかさ
いひたゝふ石ぞうゝ苔むしてあり
縄の名ハいまぶる朽ぬ石垣
むゝを今ハ三ぶぼゝの級

東向観音ハ梅樹の二樹をもりて。賀神出まづゝ
きぎ生せぬ所ゝゝゝ
清水ハ益々四方ハかはれる郎生音
梅ゝゝゝてはゝゝゝば
それゝ社内をぬけて平野の社まゝる此神ハ
四度生て今本神ハ度神吉興神比咩神ゝ
ゝゝよく仮ゝ本猪乃
平野の神を祭ゝゝ せ先

ちゃふ紙屋川のかうふ二軒茶屋あり。あるいハ室
後ゝちゃうるふ。ふるゝ女せんゝ四茶屋ふるれば。女
ども出向ひて川よりおいでさるる。ツイト行くゝおいでる
されハ話ちんぞうめへものがあるう孫やゝもくひさゝ酒も
のこゝろゝ。ア ちよびゝとあるので。一ッたんまやゝとのこて
やまとぞ。トおくの座ぜんされまてをかるゝ。女てをさるき話
をもち出ざるいかり。書のみびさゝるゝ。さろそく
見えあるうぐそへ。女中ひとろはぎあへ。ラット あるやまゝく
おさちゐ あぎよろるゐ。コリヤ ヨさゝゝがムのゝけ者やぞへ

川ア 山鼠がおめへのムいきゝへぞぐ。女ハ ヨさゝゝ ハナ おまい
さんが川鼠ゝいふろもや。コリヤ 話 みぐぞへ。そん
ちゃうおめへまあげやせう。ドレ ヨろちもムいきのさるる
あげやせう。ヨ ちゃうゝ 山生ゐ 妻がちんとして。おまいさん
のムゝじゃへ。コリヤ やもぢうこて。ハハ ゝゝこぢうけうちんぐ
ぞよ女中。でんぐゝでめゝ。ちゃうゝ。ちあせへ。ハイ。ゝ
ヨへ。ト さぐれ女でんぐゝめゝとちもちまる。ぞろうのまろいじ考ぐゝヨん
出ぐついそのあるこふ。さもむきろゝき出ステへあさのころ
ものよこれるるきそ。これもでんぐ出
ちゝゝうムぐゝ。一人の侍のつゝとさけば。ヘ ト 似戒 情きこ

ハゴこでゆるぞいの八ツ持戒がうとうきゐもコとゝゝが
ゆゐ西でゆうんせ。あとハきゐうとうよゐゆゐコいの。コと
まゐ。ひさまうのんと松ふゆゐてぐやあうとがハまハ
とゐゆうんさうハコ。ゐゐんせ。雷子ゆらゐて世ふうとが。ゐ
らうゐ持がよふて。とまうゐんコいゐトいうくあさぎの
はがうとゐ。オゐハきうのとうもきゐがう。あうゐハきゐびんゆて。きがゐの
ゐゐ。うゐんゐうぎうゐ。ゐゐうゐハこゐとゐときもとがよりき
ゐんがんうぎうゐ八ア。ちうゐど。よゐいいくうとうこゐゐ又
ゐうゐの井子切ふゆゐせゐうがゐ。りゐゐ月代がむちや

ぎやさうハゐとちんせ。いうのまゐうとうゐいふ。ゐうゐ
とゐゐ。おうとうゐうトゐゐもはきんをゐれば。ゐはゐれんのくがは
ぐそんゆうぎと。ゐとゐうゐ。ゐうとうきはゐうとゐ。ゐまうふ
ゐゐうゐ。ゐゐとゐうゐのおゐあさゐ。ゐうちうふを國
のりのでぎぐうやまぐ。ふゐゐあるひてゐうちいゐく
さゐぐゐ。ゐぐゐしいゐもゐんゐのまゐゐとゐれぐ出京
ぐゐの髪ゆゐとゐるハまゐふゐ今がゐぐゐ。ぐふも
合長がゆきやせ。ゐ卒ふゐがゐ。ゐまハぐゐハ。ぐこの
おうゐでぎうやゐ。ゐ稱ハハとのあゐゐのはふゐん

くいな。ちちや宮也おまの傍おやはらの子孫ゆるわざる。
たるーふきのそねゆーふとの美ちうるおちぶる子
ちやせん
ゆいまま
ちまちの宗体へむしりうり中絶が
あまま
あるて。ちるいふ子ゆへ清ちとちゆしるがう。天宝
ぶんぞぐぐんぶ
八大俗兵更じやとうる孫ちまできこうやーとぶ。ぶぜ又
おまへぐこのねなさる西を。宮也おまーいりまを孫
ちちの
ちまれべいる。ちちの赤ちたいでへぐーとろちゆう。
ちのちの
代ーうる多うい大食で服ぶやあろぶ。ちんじや

あろがちんがでもよくふさい。祢(きひど)飛ふよだれて
いてもきぬつけくきて。ちくくくやごうきもいるく。
人でふいつとてきぐよ家也(くうやぐ)まていよるへそぐや(あらい)
さくいこれ人也んせちくくこくへきてもふうでおたち
こうだんくふこうこうりやこうもう稲へ大ぐらひぐ。
もうもこうちもくこうこうめさいつもも伝伝へ(しかの)
好ゆくこ十二カ あろちへ版ごろでぎぐりやこうこう先
朝(あさ)ぎろくきるくちやうけふくて産伏の天家程(ざこう)(あるなろぐ)

あろ。みぎうめくを出くやこぐ。あろちのくきゆいへ子
どもできくこれを十ほくなろぐくもくひやをころ
ちへ。ぎろくきぐんがこるくてろくふ合(むまく)もいはせ
ちんぐが。ナセ八ゆもくひゆくころうそうきるとや
ぐて。りりができくこうて。そこのてひ西のいふゆ。ろ
ぐのおきゆくふかあんぐへがこるひくふこぐうけき
へ麦版(むぎかり)をくこれまくこうこうて。ねがころけをきろこ
ちぐふきこうこうぐふ拐紙(まりぐち)の二十ぐりもここふゆう

なてあるとおりひなせへそふまるく。椀へかるがめん
ぞうぐと。家内のゆうふうこるそのきうだち一ッで
うゝけて麦めしとその中へ山のよふまるでうゝひ
ある。ひろちも給金はおでねとが。麦へ大好物で
ちうへられやせんうゝせあてひゝきうだちもゆ
ゑんゆうゝひうゝふ雨ぐ。くちあうぐらうゝぎるく
と。ちうへのこゝふまぐうこんできうぐきうだちふ
ふゝうきんゆゝひゆゝきうゝぐ。今でいきんと今うぐ乃う

ゆゝきへソリヤおまいもめゝゝ素人じやないのナント
めゝりうきんせんうゝ。ソノ服装ぐ。とうふもあうやを
う孫へゝゝおまいのうそでぐやゝ乃中の服装じやあう。
そぐやないのうゝ。とちきうゝが仲間できるへ汽の中元
ぐ。冨りうゝふうゝで。服をとぐひふゝひあをめゝ
りうゝいふのうゝ。ちゝやそ見ゑんせ。ふゝのうとちも
まぐ服ぐゝひうゝんきうゝ。あいまりゝきの玉を第
ぎやのうゝへゝぐゆうゝかりうそあるとうきぐ。そゝ

ぞんまるのでぞざりやまと孫〻てアちやんどやあろ〻と。
やてアるまされモシ女中。ちよときてくぶんせ。おそちの
おろろーどや〻女ハイ〻ト申おそちのもちきらると〻サノ太だあんくい
イヤてんしゆゆふ。ふてろうろうやろうるるトちやびけぞやうえ
さろくしくもい〻サアノ〻おまいさそういるトこれぞくのちやうえを
〻さうかりるるう。お扱とうふ〻雨。めりりまぞやさうい。お
扱ふいてーまさよろいるトこれぞくのちやうえをつきけてちやく〻をれ
ろうちぐくふのろ孫〻さよどやり〻アきさへゆ〻。

さうづきこまいをんぞ孫トこれぞくのちやうえをつきけてちやうえを
まる〻〻りやまゆうとん。おさへまさよろい〻イヤまづく
〻そておまい。ぞん一ぞんかさ孫るされ。ろ〻〻さけて
ぞざよろいるトこれぞくのちやうえをつきけてちやうえをいてんるう。おやへさけ
てんるせへトこれぞくのちやうえをつきけてちやうえをあるまく。ちやうえをちやうえを
ろうるるぞうこちろぐくうひて〻とれる
ぞやゆ〻。つけざ〻ぞやれれぐ。め〻ぞやさうい。くひ
さ〻ぞや〻引〻おめのそのぞむ〻やくゆ〻やと。百孫
ぞ陰るに中でくひさ〻あやまるの。さうもゆるくあ

ぞうとうしてきニいんでやぞいな。そないなを
いんでやう附合がなろうな。そうこんて。
誰もとさくんさがよいのリリヤ情ない。
さもくやうとらんちのぞ。きこと極へかのごかく
ろうちんはあんなせへイヤおまい。まわりきうだち
ぶぶちそれこんさらんでやないな。ひきゆうな
ちいうんを。とうさんせ。一番いうんせそうこけんで
まんろうろうよろうろいのそのかろうの名無へろんと

いいさんでや　トクのちゃらんのうてかをえてサリくきろまきんでや。
サンナムメでくトウライ。ぞういちく。サアくあぐり
みさんれそのらせおたちのかろうぞや　トもちおちつけ
えんどうきりこんをおて。もひろゆうんせ。おたちの
きりくこんこれきあがきのがろうかろめどや。イヤかめくぞうくコリヤゆくらいどや。
おまいい田舎かのどや。ぞや。特別のきぜとのを。
あぐりはけてぬさんきさいとないな。一本の。某
だろうのめれよあぐりうんかんどやあろどるな十二

ロろちゝア猪の牙のようなかたちでかくちゃ
やせんいさいみこれが者のきてどやらいめ
みゝ。おめ〻ろうめのあいをゝあゝ。ゝをゝリヤ
ゝこてうのこゝふ。おつきゝみかんで。おつりふきよどや
ないろいみ　トみづけのいろはあり。ぜんぜをちちあけてかゝうり。
ぺろ〻〻〻ろいてきゝみひかろいがゝまゝきゝこれも
きゝこゝみよゝゝて〻サア。あぎよいみ。イヤかゝでふちゃく
ゝゝ。まゝ〻〻サア。あぎよいみ。イヤかゝでふちゃく
きる　トみんさゝのこゝづだきゝ〻〻サヤきゝゝゝいのおつ
えがゝとゝれあゝゝひて〻〻サヤ
りゝどやゝゝかゝいろぬ。ゝゝてきゝこ猫へ

人が雪降へいろこゝをあゝつゝ。ゝまゝあだちで。きゝ
きゝこんぶゝつゝそれでこんぶゝて〻〻ゝみのゝゝゝ
はゝ茶碗で〻〻ヤかみ。きゝゝがさるるみぶこそれは男
みせ人。今の一ぱんやゝはてぬゝゝ。ふゝふゝ。ふゝゝゝ
のうちでふゝはゝゝゝみおゝぐきゝゝゝ。さぐ〻て
ひゝゝゝ。ゝゝつきゝゝふんどゝのひもがきれるゝゝぬふ。
ぬゝぐゝてきゝてきゝこゝかめを。かゝくおゆるしゝく
ゝゝ。ゝかゝゝゝかされ。おつりゝどや。コレ女中みんが

おや勘兵衛そくぶんせハ十ハ
きようの[illegible]ぞやとおもいるに[illegible]おでんの代も
ハ十又でよどぎうまさとがおかめ[illegible]ハ又石七十二歳
いつぶきとうときうまを[illegible]ソリヤ[illegible]練やまとかん
おや別答ふいとそうのまつ[illegible]ト代代涉んぶ[illegible]て
まるのまつひまを[illegible]ソリヤ
あんまうぶおかめ[illegible]おかめ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
とろちんとろと一せんと二せんとあの二ツとうと
ふーとうちぶ孫[illegible]なふいとんをぞうさ一ぞでり

りうさんとかのよ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
おやなふいうの子ト[illegible]
[illegible]
ぶぶぶぶいう孫へうヲサいきて[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]
うどうれ孫へぞよぞくまとひいて。そろ〳〵ぶ[illegible]ぶ[illegible]
ぶれ[illegible]ぶいくぶの孫へサアとうぶ[illegible]ぶ[illegible]
しそれ孫。ちーぶくちうぶ[illegible]ぶ[illegible]テモきてあ[illegible]
とそとうへサアくとうぶ[illegible]ト[illegible]ぶ[illegible]

洛陽 元仲

芥斎

あぐろ（女）出ける（ゆる）者（ものく）が出る（る）されば（ハ）アイおせんまつや
〳〵ざ（ザ）く猪さん（ん）いろ猪（ぢ）ぞ（ぞ）きる〳〵
さ（ざ）めろ〳〵人を（を）茶（ち）て（て）ゆ（ゆ）だんも
屋（や）ろ〳〵ふ（ふ）俗を（を）京（きや）也（ど）寺（ら）みゆ（ゆ）
ぶ（ぶ）ようきく。茶（ち）神の社内ふろうるが。東の門が
一条ごとうふ出る（る）ものを（を）ぎ（ぎ）うかく（く）わ（わ）
南向の門を出る（る）ふ。あ（あ）もつぎ（ぎ）もの。の（の）挿子（そ）を（を）
ちや屋のかぐちく（く）ゐれば。浅〳〵ゐ（ゐ）ゐ（ゐ）とろつきて

まてく。さろきのさ（さ）ぐ（ぐ）が。ゆ（ゆ）ぞ（ぞ）ろ（ろ）あ（あ）そ（そ）ふ（ふ）そて
うけてある。ア（ア）とろちのわ（わ）く（く）来（と）ぐ（ぐ）ろ（ろ）よ（よ）ふ（ふ）さ
ものと。わ（わ）ハ（ハ）まさあ（あ）く（く）ぐ（ぐ）ろ（ろ）ふ（ふ）ろ（ろ）ぐ（ぐ）。あ（あ）そ（そ）ス（ス）
やまとまぐ（ぐ）ふ。さ（さ）ぐ（ぐ）ぞ（ぞ）ろ（ろ）ゆ（ゆ）ま（ま）ろ（ろ）。ひ（ひ）ろ（ろ）ゆ（ゆ）と（と）ス（ス）ま（ま）さ
ろ（ろ）紀（き）。例（れい）の挿子（そ）ろ（ろ）ていけ（け）いふ（ふ）ぐ（ぐ）ろ（ろ）ぢ（ぢ）。さ（さ）ゐ（ゐ）ろ（ろ）て（て）文
あ（あ）く（く）ぐ（ぐ）ろ（ろ）もどう（う）ま（ま）ろ（ろ）ぐ（ぐ）。ぞ（ぞ）ぐ（ぐ）ぞ（ぞ）ぢ（ぢ）ゐ（ゐ）ち（ち）ろ（ろ）ぐ（ぐ）あ（あ）り
そ（そ）ふ（ふ）ま（ま）ち（ち）の（の）ぐ（ぐ）下（そ）ぐ（ぐ）ま（ま）ち（ち）ま（ま）ん（ん）そ（そ）ゆ（ゆ）ま（ま）ち（ち）ろ（ろ）ん（ん）の（の）る（る）場（ば）の
ハ（ハ）ア（ア）ゐ（ゐ）ぐ（ぐ）ぞ（ぞ）ぐ（ぐ）ぞ（ぞ）ぐ（ぐ）ぞ（ぞ

ふ。くれはいて。釜やのまへとをるがべ。をるのごげふをう
てゆるうう。ようやをうつけの志めへじゃア 張 ヲサ
をれぐつ。コリヤ大びきぐ〳〵 ト おくとうきうるまを〳〵をと
ちうくるれば。ふうとうもをう〳〵んでをるのうげふうをれゆくくてうどゝの。
ま〳〵どとあづけ〳〵。ちさ屋のまへふいうをてをるハうちぐみうてうごうぎ。
ちうくハうけめけて。ちや屋ふをうけうぬせハせんを〳〵とおかハ。おをぐく
をるのよこまを〳〵のをうへついでうまちぐをりみる。むくうをうをるをうちて
〳〵をこのをう〳〵ぐとめハ。をふまをとうのぐや。日ガ〳〵ぬるハ
ゆハ ト うをでもうごぐぐ。やぐをるハ。せうぐんを志をアをく 張 ヲ引
張 ゆハうをゆハうををぐまをてせうべんぐうけ〳〵をう 〳〵引
コリヤ又をうさけをいめふあへとうぐ 〳〵 ハ くうさいく

下 六十六

ソレ張 ふさん。おめへのをうへなぐれるハ 張 〳〵ちく せうめぐ
をんぐめふあへせる。をれへ〳〵 ト ぐびのけべむりふのちを
屋のうどををふをる
せガ。弟を
をうけて 〳〵をレナ〳〵とうをちやでこをうまをとをうる。サア
おをうをうるをれ 〳〵ソリヤ ゆハ とををアをうけうををて 〳〵コリヤ張 ヲ
ま〳〵ぬく〳〵 ト 一ちうくをんゆうけうぐをべ 〳〵コレナをく〳〵どうど
ちや屋のをうをんでぐ
ぐうまをとうをうヲイく〳〵 ト とうびうをうぐをうをうをうをうをぐ
をうをうまうをうゆげうり
あへハをうく〳〵とうをををうをうけうぐを〳〵。下の木林
をうちをぐ。かをのをかぐをうを出。ことん 麦ぐう 八幡宮

の廓中をとりあつめて。やとりあせもあらべいつ書く
せをぶつくゝゆ合せて。諸集の人よ。ろくをぶくを弱收
子女出ぶりてゆくゆ。町をそるれて来るふ可
多物んとゝ。ゆをと出さと人ぞ鬼言ふ
東寺つうの花のさうよ
そるより壬生寺ふ。ふ。ふ。

清輝朝臣の清輝抄は歌学さまざまに
なれど歌よいへるがおく作者ふる事門ら
也ちかのもと大臣家ありて家もとたきめ世
後大臣ありてハ作者ふる也と物語も
其信をし也なるまゝ文所さう跡の
影田ちかるハいつもさうちう世中忠定京
鳥内道新聞極江曽根崎の風色の
あらうえ一ゆをと著して金葉三ゆを

下 六十八 了

ゆをむ子己の歌の新撰ゆをそなへとも
拾遺以後初編よりゆを七編よりおよぶて
詳なる行ゑて編中の悦稽ゆを
清輝兼の編よりて金ゆをしゆをすゑ
ゆれどやまゆを高雅の智を綴り丹誠ゆ
ゆもをまゆして編中ゆをもんとゆをゆ
里のかまでもさゆみをゆる孫茶毛文字
のゆをゆをハ茶ゆをゆをあきを

辛て宮〻おふ〻ゆく〻こゝろの〻

十返舎一九著　全　大阪町中見物〻清秋旨〻〻〻〻〻画圖を誘〻〻〻〻〻

13